

イメージを形にする設計製作技術 IV

— ストライプ模様による構成 —

Creating Image Designs Using Molding Technology Part 4

— Composition of Striped Patterns —

佐藤 眞知子

Machiko Sato

要旨

ファッションデザインにおいてイメージしたものを実際のアパレル上で具現化しようとする場合、『設計製作技術や技法の支援によるところは大きい』、加えて『創造的なアパレル設計製作技術・技法は、それ自体がデザイン発想の源でもある』という2つの観点から今まで稿を進めてきている。第4報となる本報では、「ストライプ模様による構成」をテーマに取り上げた。古くから広く一般的に用いられているテキスタイル柄の「ストライプ模様」について定義づけた上で博物館の衣裳、コレクション作品、身の回りの事物、模様を構成する要素、イメージ、テキスタイル、柄合わせなどの項目別に特徴を捉え、解説した。ほっそり見える、ふっくら見えるなどのいわゆる身体的な錯視効果とは別に、本報では一見単純で定型的なストライプ模様が、創造的なアパレル設計製作技術・技法によって、アパレルの素材柄として斬新で生き生きと活かされている事例を学生作品や日常生活の中で追い、デザイン発想の要素として効果的なストライプ模様の扱いについて検討した。

●キーワード：ストライプ模様 (Striped Pattern) / デザイン (Design) / 設計製作技術 (Molding Technology)

I. はじめに

「イメージを形にする設計・製作技術」という主題の下、第1報¹⁾ではフリルの場合、第2報²⁾ではニードルパンチ技法によるテクスチャー効果、第3報³⁾ではミシンのアタッチメントによるバリエーション縫いを取り上げ、技術・技法そのものがデザイン発想のヒントとなり、デザイン表現の可能性を追求するために有効な一つの手段であることを示してきた。第4報はストライプ模様による構成—とした。

体型を、より細く長く見せたいという人類共通の願いに対して、一定の条件の下でストライプ模様の衣服が関与するという報告がある。多くは縦縞と横縞の見え方、アイテムやデザインによる見え方に関する量的な錯視効果について、服装デザイン学に留まらず認知心理学の面からも論じている。^{4) 5) 6) 7) 8) 9)}

本報では授業「ファッションデザイン実習」での習作事例を基に、ストライプ模様のテキスタイルが展開する様々なイメージ表現の可能性について探求した。まずストライプ模様を構成する要素について分析し、視覚効果を表現する評価用語について調べた。併せて日常生活の中でストライプ模様を巧みに扱っている事例に触れ、創

造的な設計製作技術・技法の適用によってデザイン発想を刺激するヒントを求めた。

II. ストライプ模様

1. ストライプ模様について

定義：ストライプ模様とは、多数の線を平行に並べた模様、つまり線條を繰り返して並列して出来る模様のことをいう。水平方向であればヨコのストライプ（ボーダー）、垂直方向であればタテのストライプとなる。“縞”には、チェック（格子）の意も含まれるため、本報ではストライプ模様という。

ストライプの地と柄の関係：ストライプ模様は、2種類以上の線條の並列により形成され、“地”の部分と“柄”の部分に区分される。普通は幅が狭く細い線條の部分が柄と認識され、幅広く太い部分が地とされる。地と柄の幅が等しい場合（ブロックストライプ）には、白または淡色のほうが地とみられる。織柄の場合、多くは晒糸が地を作り、染糸が柄となっている。

2. 中世～現代西欧世界におけるストライプの意味

シマウマを見た時、白馬に黒の縞模様があるのか、黒

馬に白い模様が入っているのか?と考へ、堂々巡りしたことはないだろうか。考へることは洋を問わず同じよう
 で、ミシェル・パストゥーローは、著書「悪魔の布」¹⁶⁾
 の中でシマウマの例を引いて『空虚と充満、開放と閉鎖
 はどこで区別されるのか。背景の面はどこで、前面はど
 こにあるのか。』等と記述している。また、縞模様の衣
 服については、『聖書に端を発して中世西欧では否定的
 ですべて悪魔と関係がある。今日までの時代が先行する
 習慣や規範を否定せずに、しかし新たな習慣や規範を生
 み出したか、そして、そうするうちに縞模様の物質的、
 象徴的世界がしだいに多様化するに至っている。現代の
 縞には、悪魔的（強制収容所に収容された者たちに屈辱
 的なしるしとなった縞）、ないし危険（たとえば、交通
 標識の縞）の性格を持ち続けているものもあれば、衛生
 （シーツや下着の縞）、遊戯（子どもの世界の縞）、ス
 ポーツ（レジャー用や競技用衣装の縞）、徽章（制服、
 バッジ、国旗の縞）といった意味を時代とともに持つに
 至ったものもある。中世の縞模様が混乱と違反の原因と
 なったのに対し、近現代の縞模様はある秩序立ての道具
 へと徐々に変化してきた。下着だけでなく外側の衣装に
 おいても、細く淡い縞の方が強烈なコントラストの色か
 らなる太い縞より良い印象を与えるのである。それゆ
 え、ともに縞のスーツを着用しているとはいえ、銀行員
 の縞が細く控えめなのに対し、「ごろつき」の縞は太く
 目立つのである。今（20）世紀を通じて服飾の縞模様
 はしだいに多様化し微妙なニュアンスを持つ様になっ
 てきた』としている。

3、身の回りのストライプ模様 図1、図2

何気ない日常生活においても、そのつもりで見回せば
 ストライプ模様のものをいくつも容易に見出すことが
 できる。服飾・小物類では、ボーダーのTシャツ、レジメ
 ンタルのタイ、ラグビーや野球・サッカーのユニフォー
 ムなど際限ない。屋外でも床屋のサインポール、店舗の
 シャッター、オーニング、横断歩道、踏み切り、慶弔幕
 等など多数見受けられる。中にはブラインドのように羽
 （スラット）だけで構成され、地となる部分が無いもの
 までも構造を無視して同等に認識していることがある。
 また、ストライプ模様のように見えるだけの無地のド
 レープカーテンについても同様である。このように生活
 に密着して活用されているストライプ模様の中から、国
 旗と JIS 規格を取り上げて意味づけられているそれぞ
 れの背景、及び機能面での必然性を包含していることを確

認した。

(1) 多くのストライプ模様の国旗には、モチーフやスト
 ライプの線条数に、それぞれの国の由来や精神が象徴的
 に込められている。図1の左列は、星条旗に代表される
 赤と白のヨコストライプの国旗で、上からアメリカ、マ
 レーシア、リベリアの国旗である。赤の線条は独立時の
 州数や署名者数を表している。右列は、青と白のヨコス
 トライプを用いた、ギリシャ、ウルクアイ、キューバの
 国旗で自由、平和などの思いを象徴している。線条数
 は、独立に絡む年数、州数等を表している。

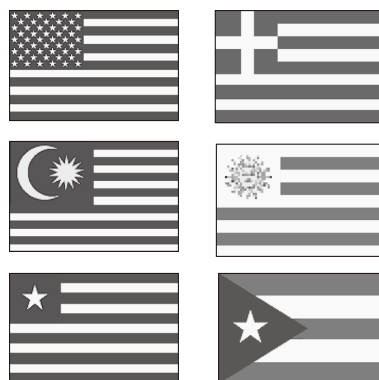


図1 ストライプ模様の国旗

(2) 踏み切りや安全標識のストライプ模様については、
 JIS 規格で以下のように規定されている。

- ・踏み切り：(JIS E 3701) 踏切道を通行する者に注意
 を喚起するために規定、踏み切り注意柵の色は黄と黒
 のしま模様、しま幅は黄が180-300mm 黒が120-200mm、
 角度は45°、柵の隅が黄
- ・安全標識：(JIS Z 9101) 45°の等しい幅、危険位置の
 警告は安全の黄色と対比色の黒との組み合わせ、禁止
 区域は赤と白、指示表示は青と白、安全状態表示は緑
 と白



オーニング



安全標識

図2 身の回りのストライプ模様

(3) マリメッコ本社探訪時に見たストライプ 図3

フィンランドのテキスタイルメーカー、マリメッコは「マリーちゃんのドレス」と言う意味である。大胆な色使いと自由で斬新なデザインのポピーのプリントファブリック“ウニッコ”で知られ、ライフスタイルブランドとして昨今日本でも大人気である。2012年8月に訪れたマリメッコ本社の玄関は、大きな白黒ストライプのソファがセットされ、天井から象徴的なストライプの傘が下がり、マリメッコらしいインパクトある設計であった。左奥は多彩な新作商品のショップ、右側には白を基調としてリニューアルされた話題の社員食堂がかいま見えた。最前線の広報担当者だけでなく、多くの社員がそれぞれにさり気なく、品よくマリメッコ製品を着こなしているのが見受けられる。従業員はファミリーと言う考えからここでは朝粥とランチが提供されるだけでなく、打ち合わせからイベントまでできるスペースとなっている。2階のショールームからデザイン・サンプル縫製等の部屋を廊下越しに見ながら抜けて、隣接のプリント工場を見学した後、インテリアからテーブルウェアまでマリメッコ色一辺倒のこのカフェテリアで、われわれも社員に混じってランチをいただいた。

- ・マリメッコのヨカポイカ・シャツとは、「すべての少年」のためのシャツという意味である。2色でプリントしたストライプの重なり部分が3色目のストライプを生み出し、フリーハンドの線條と共に新しい視点からの縦縞パターンとして、1956年以降50年を超える定番商品となっている。(図3の傘や小物入れのストライプ)
- ・マリメッコのタサライタのシャツは、白と黒や赤の均等な横縞のテキスタイル(図3のマグカップのストライプ)である。1968年にリーバイスのジーンズに合うTシャツとして発表されたが、今や男女年齢を問わず誰でもが日常的に着用する普遍的なデザインとなっている。

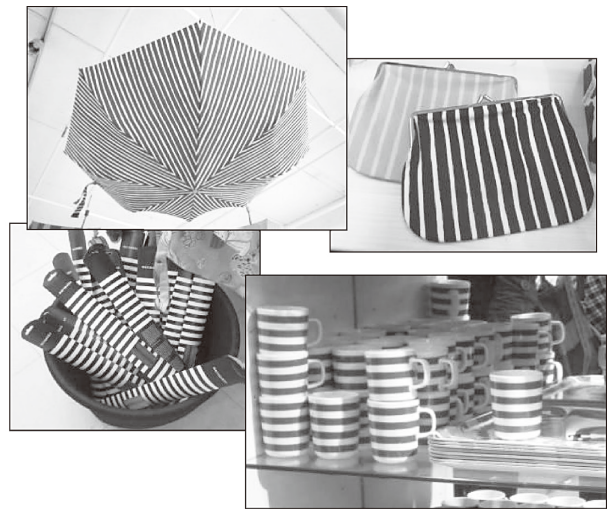


図3 マリメッコのストライプ

Ⅲ. ストライプ模様の衣裳、コレクション作品

1. 博物館の展示衣裳 図4

本年度、本学博物館の展示会場で見かけた、ストライプ模様が特徴的で印象深い3作品をあげる。

- ・作品1¹⁰⁾は、ストライプ模様の流麗な動きが特に目を引くデイドレス、1900年頃のアメリカの衣裳。裾広がりロングスカートのタテストライプが、後ろへ回るとつれ傾斜して後ろ中心で束ねられている様子は、シルエットとあいまって非常に美しい表情を作り出している。
- ・作品2¹¹⁾は、絹テープ縫合による多彩なストライプ模様が美しい婚礼衣裳である。20世紀初頭のチュニジア・ジェルバ島の女性用衣裳。
- ・作品3¹¹⁾は、地部分の方向と直交する柄部分の更に細かなストライプが、肩からのドレーピングに精巧に活かされている。20世紀後半ガーナ・アシャンティ族の男性用衣裳。

2. トリイユキ「アーカイブ展」の作品 図5¹²⁾

- ・作品4は、1994SSのコレクション、幅を変えて黄、橙、朱を、ベージュがかった落ち着いた上品な色合いにまとめあげたストライプ模様のパンツスーツ。
- ・作品5は、1964年のモノトーンのアンスンブルを復元したもので、斜めストライプのフードとインナーのコーディネートが、あせない新鮮さとパワフルな女性の主張を伝える秀逸の作品である。



作品1



作品2



作品3

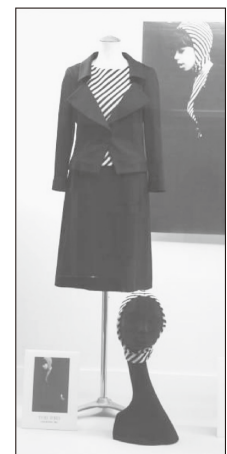
図4 文化学園服飾博物館 展示作品

3. 2013SS ファッション情報におけるストライプ模様

2013年SS NY コレクションについて、織研新聞は「ジオメトリックショック」¹⁷⁾、WWD ジャパンは「リアルクローズの街からオブアートが芽生える」¹⁸⁾と見出しで大きく伝えている。マークジェイコブス¹⁸⁾のIラインのスリムドレスにのせたボーダーやストライプは、クリーンなインパクト、マイケルコース¹⁹⁾のグラフィカルとジオメトリックなパターンの組み合わせは陽気で開放的、トミーヒルフィガー¹⁹⁾はボーダー七変化・トリコロールのボーダーを取り入れ陽気で軽やか、等とストライプ満載の様子を伝えている。また、JFW 展示会情報では、「ストライプの脅迫」²⁰⁾と題して『「トーガ」の春夏物は何から何までストライプでいっぱい。ピッチの異なるストライプを組み合わせ、視覚に強く迫ってくる。』とストライプオンストライプの組み合わせを取り上げている。



作品4



作品5

図5 トリイユキの作品

IV. 模様を構成する要素

単純で単調に思われがちなストライプ模様であるが、線条の色や種類、及び配列の方法などのバリエーションによって、多種多様な表現が可能となる。ストライプの模様を決定付ける構成要素6項目を以下に挙げ、種類・代表的名称と関連付けて分類した。(以下、名称のストライプは、s.と略す)

1、線条の方向

- ・ヨコ (水平) : ホリゾンタル s.
- ・タテ (垂直) : パーティカル s.
- ・斜め : ダイアゴナル s.

2、線条の性質

直線で形成されるストライプ模様の他に、以下のよう
な線条によるものがある。

- ・点の連続による線条 : ドット s.
- ・杉綾の線条 : ヘリンボン s.
- ・山形の線条 : シェブロン s.
- ・網状に斜めに振れている線条 : ケーブル s.
- ・曲線の線条 : よろけ縞

3、線条の配列

- ・規則的に繰り返される配列
- ・不規則な配列 : イレギュラー s.、やたら縞、
- ・グラデーショナルな配列 : グラデュエイト s.
カスケード s.

4、線条の幅

線条の幅 (太さ・ピッチ) は、糸1本のものからリボンやテープ、帯くらいの幅のものまで多様である。幅の様子になぞらえて名称付けられているものに、ヘアライン s.、ペンシル s.、チョーク s.、クレヨン s.がある。

地と柄 (線条) が同じ幅のストライプ模様は、棒縞ともブロック s.、イーブン s.とも呼ばれ、ストライプ模様の基本である。

さまざまな幅のリボン状の線条で形成されるストライプ模様に、バイヤデル s.がある。

5、色数・配色

- ・2色 : ツートーン s.、プライマリー s.
- ・多色 : キャンデー s.、レインボー s.、プリズム s.、
バイヤデル s.、キューバン s.

6、配列のユニット

配列のユニットとなる1組の柄は、1本線のもの、あるいは2本線のもの、3本線・・・複数本まとめて1つの柄とするものがある。

- ・1本線 : シングル s.

- ・2本線のユニット : ダブル s. オルタネート s.、
トラック s.
- ・3本線のユニット : トリプル s.
- ・複数の線条ユニット : クラスタ s. グループ s.、
バンジョー s.

V. イメージ

イメージには主観的な要素が多く含まれているため、受けとめ方は人それぞれである。同一対象から受けるイメージも、皆が同じであるとは限らない。しかしながら、形・色・素材の造形要素がもつイメージの方向性は多くの人が共有しているため、それが共感につながっている。本項では、ストライプ模様が喚起するイメージについて捉え、効果的なデザイン発想に連なるヒントとしたいと考えた。

報文を参考にして、ストライプ模様の衣服に関するイメージテスト⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾⁸⁾に用いられた形容語対を適宜ピックアップし、以下にランダムに記載した。評点の大きい語は、イメージの説明や伝達手段として有効と捉えて、太字ゴシックで示した。

冷たい—暖かい・温かい・温かみのある、明るい—暗い、アダルト向きな—ヤング向きな、軽妙な・軽快な—重々しい、硬い—柔らかい、ドレッシ—スポーティな、派手な—地味な、弱い—強い、大胆な・粗野な—繊細な、はっきりした—ぼやけた・あいまいな・ぼんやりした、個性的な—平凡な、鋭い—鈍い、やぼったい—スマートな・スツキリした、シンプルな—複雑な、好きな—嫌いな、立体的な—平面的な、一般的な・平凡な—個性的な、上品な—下品な、静的な—動的な、センスのある—センスのない、大人っぽい—子供っぽい、高級な—安っぽい、フォーマルな—カジュアルな、年取った—若い、渋い—華やかな、男性的な—女性的な、革新的な—保守的な、活動的な—おとなしい・しとやかな、豊かな—華奢な、太い—細い、田園的な—都会的な、重厚な—軽やかな、快—不快、興奮した—穏やかな、病的—健康的、きつい—やさしい、オーソドックスな—ユニークな、調和—不調和、くどい—すっきり、引き立てあっている—引き立てあっていない、さわやか—うっとうしい、ほっそりふっくら、素朴—華やか

VI. テキスタイル

テキスタイルにおける一般的な線条表現の方法 (スト

ライブ模様の作り方)には、織り技法、編み技法、染めによるものがある。具体的な線条付けの種類と布地名を以下に例示した。

1、プリント

編織した布に、線条を染め付ける方法で、線条の性質は定規で引いたように精巧なものから手描き風のものまで、デザインに応じて自在に作成できる。縦縞はローラプリント、横縞はスクリーンプリント

2、糸の色（配色）

2色以上の先染め糸を使って、線条を表現する

- ・編む：天竺（平編み）
- ・織る：ヒッコリーストライプ

3、組織（編織）

編・織の組織によって、線条を表現する。

- ・編み組織による：リブ
- ・織り組織による：ピケ、コーデュロイ、フランス綾
- ・整経時に経糸を緩める：シヤサッカー

4、糸使い

- ・光沢のある糸とない糸、意匠糸と普通糸など、テクスチャー効果の異なる2種以上の糸を用いて編織して、線条を表現する。
- ・染色性の異なる糸を用いて編織した後に、一浴染めでストライプの地と柄を染め分ける。
- ・熱収縮率の異なる糸を混用して線条を表現する。

5、加工、仕上げ

- ・苛性ソーダによる後加工：リップル
- ・エンボス加工
- ・模様剪毛

VII. 衣服製作時の扱い

1、柄あわせの基本 図6

ストライプの柄を合わせるには、双方の長さが合わなければならないが、切り込む角度が異なれば当然切り口の長さが変わり、柄合わせが出来ないことになる。



図6 切り口の角度による長さの違い

(1) カッティングの基本

図7は教科書²¹⁾に記載した、基本的なテーラードスーツの柄あわせの図解である。ストライプの柄あわせは、ヨコ方向のストライプ模様を崩さず、タテ方向は左右対称にするのが原則である。セットインスリーブの場合には、イセ分量の見込みが必要となり手間が増えるが、視線の誘引を避けるために、上胸部と袖部分はあえて柄をずらすこともある。細かなストライプの場合は、このような柄合わせにはこだわらない。

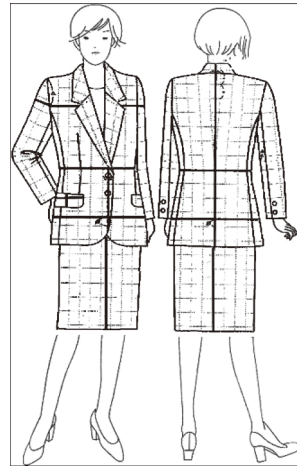


図7 テーラードスーツの柄あわせ



図8 ドルマンスリーブのTシャツ

袖山の低いシャツスリーブや裁ち出しのドルマンスリーブの場合には、着装時に服は肩から上肢に沿って垂れ下がるため、身頃の水平ストライプが続けて水平のままに見えているわけではない。むしろ自然な位置でさり気なく誘引を断ち切って、着こなしていると言える。図8

(2) 接ぎ合わせによる平行線条の崩れについて 図6

両パーツのパターン形状やストライプの切り口の傾斜角度が等しい場合は、柄合わせが可能であるが、パーツ形状が異なれば双方の地と柄部分の長さが異なり、柄を合わせることは出来ない。その場合、目立つところ(BL, WL, HL, 前後中心)で柄を合わせて、ズレは左右上下に分散させる。切替線上にあるポケットの柄あわせは、面積の大きい側のパーツと合わせる。接ぎ合わせ

後のデザイン的なストライプ構成を予測して、双方の切替線の曲線形状を揃えたり、線条にそわせて切替線の位置を移動したり、パターン上の操作が必要とされる。

ダーツのポイントは、地または柄の幅中央に配置し布目を通しておけば、図9の1のように左右均等に柄が配置される。2の場合は地と柄の境界にポイントを置いたため、左右の柄がそっくりズレている。ダーツのとり方は図10の接ぎ合わせと同様で、線条にそわせてダーツを裁断すると3・4のような表情を呈す。

(3) 濃淡色の使い分け 図10・11

ストライプの濃色部分が接ぎ目や裾にくると、そこではっきり区切られたかのような印象となる。逆に淡色の場合は境界があいまいとなり、連続していくようにも見受けられる。切替線、ダーツ部分、スカートの裾の配色は、服全体のイメージに係わってくるので、狙いをはっきりさせておくことが重要となる。

2. デザイン的な工夫

図12はフレアーによる線条の垂れを観察するために、前中心の線条の方向をタテ・ヨコ・バイアスに裁断した、半円のサーキュラースカートである。フレアーのノードにより、線条が崩れてイレギュラーに見えるのがわかる。方向を重視した線条表現とシルエットを両立させるには、切替線を入れてゴアードスカートやティアードスカートとして崩れを緩和する。図13は別布をはめ込んだように見えるが、ストライプの線条を利用して、裁ち出しのマチを目立たないように接ぎ合わせた例である。

このように、ストライプ模様の布はカッティング時の裁量だけでも広範囲にアレンジできることは理解できる。とはいえ、ストライプ布だけでは単調であったり、デザインに広がりがない様に感じられるときがある。ストライプの方向を変えてパーツを裁断したり、同色無地の別布を衿や前立て・ヨークにあしらう。また、フレアーやギャザーのように立体感の出る技法を組み合わせ、図16のようにストライプに動きをもたせるのも、効果的で面白い。

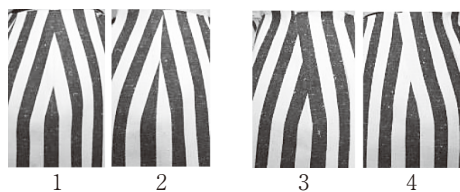


図9 ダーツの裁断

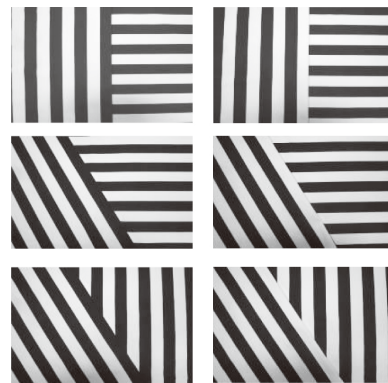


図10 接ぎ合わせ部分の配色



図11 スカートの裾の配色

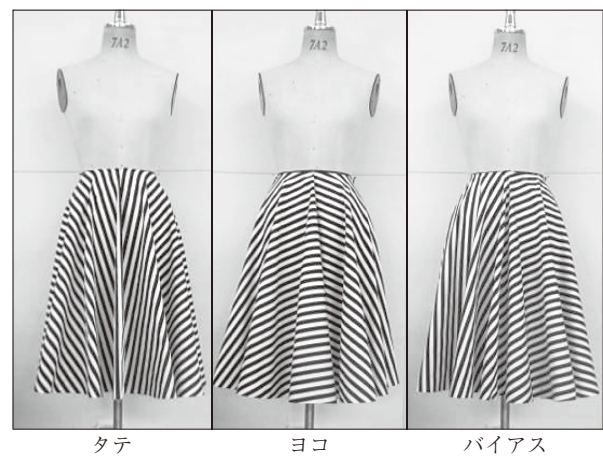


図12 サーキュラースカートの裁断



図13 裁ち出しのマチ

VIII. 構成作例

ここでは創作したストライプ模様そのものが、テキスタイルデザインとして優れていて面白いというものと、手工芸的な技によりストライプ模様布に新たな表情をもたらしたものを技法別に分類し、試作サンプルと作品を提示し、ストライプ模様の面白さを追求した。

1. 試作サンプル

(1) ストライプ模様（線条）布の創作 図 14

何もないところに線条を創って、ストライプ模様そのもの、あるいはストライプ模様のように見える布を作った。刺し子のような並縫い、フランス刺繍に含まれる各種ハンドステッチなどのほかに、ニードルパンチ、接ぎ合わせ、プリーツ、家庭用ミシンの刺繍縫いも多種多様に設定できておもしろい。どのサンプルにおいても、IV章の模様を構成する6つの要素（方向、性質、配列、ユニット、幅、配色）を基にして線条づくりに工夫を加えれば、新しい表情をもったストライプ模様が無限に得られることがわかる。因みに星条旗のストライプはプリントでなく、紅白の布が接ぎ合わせられていると認識している人はあまりいない。

(2) ストライプ模様（線条）布による構成 図 15

ブロックストライプ模様の布を用いて、ストライプ模様布だからこそできた、またはストライプ模様布だから都合良くできた、という試作サンプルを示す。

折りたたむ、切り替える、接ぎ合わせるなどの平面的な構成の操作は、単一な平行線の方向を崩して、コンポジションによりおもしろいストライプ模様の表現効果を狙うものである。

タックをとる、ギャザーを寄せる、アコーディオンプリーツを畳む、などの立体的な構成法によれば、ストライプの方向は揺らぎ、布地の性質も加わり思いがけない効果を生み出すこともあるので楽しい。

プリーツはもちろんのこと、ギャザーを寄せるシャーリングや襷山をかけるスモッキングなどの手工芸的な技法を施そうとする場合、ストライプ模様布であることは、印つけが楽、針ですくう目印になるなど、メジャーとしても便利で作業がしやすい。立体的な技法を施す場合には、しわになりにくい布、重過ぎない布であることなど、布の性質も重要である。

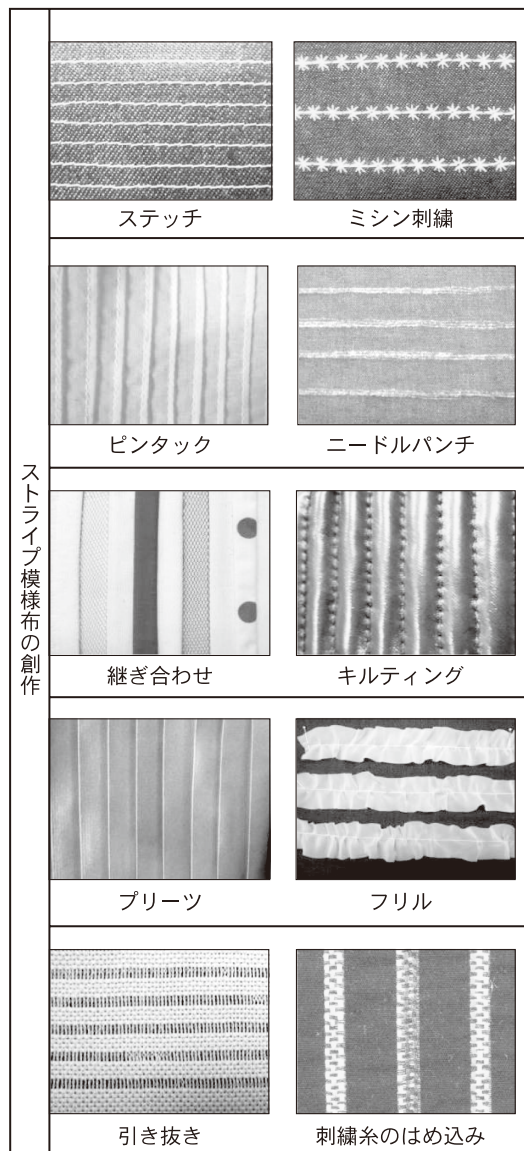


図 14 ストライプ模様布の創作

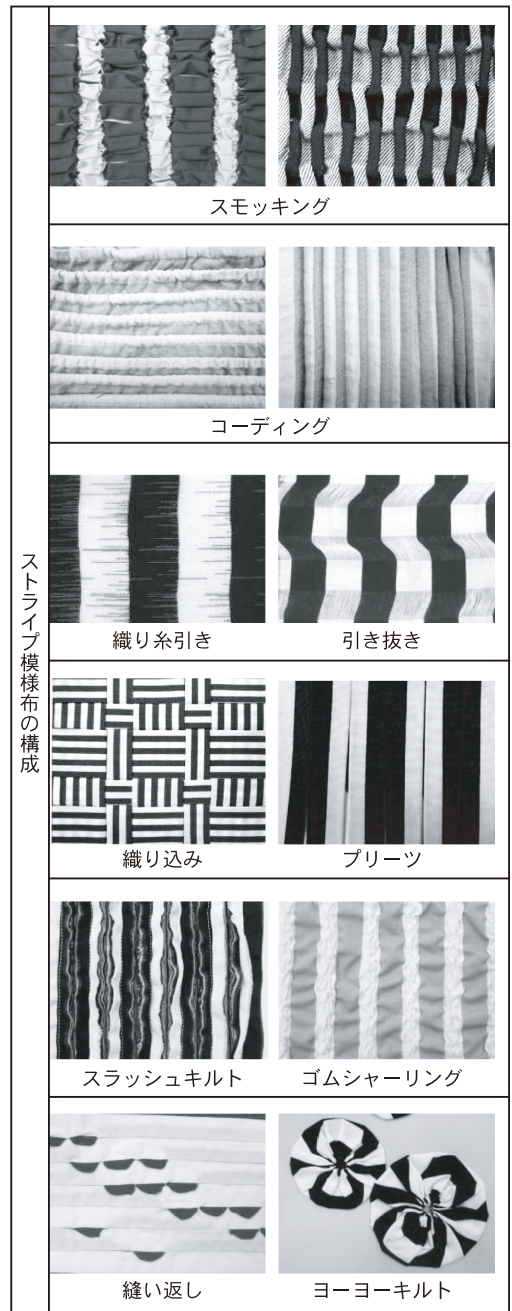
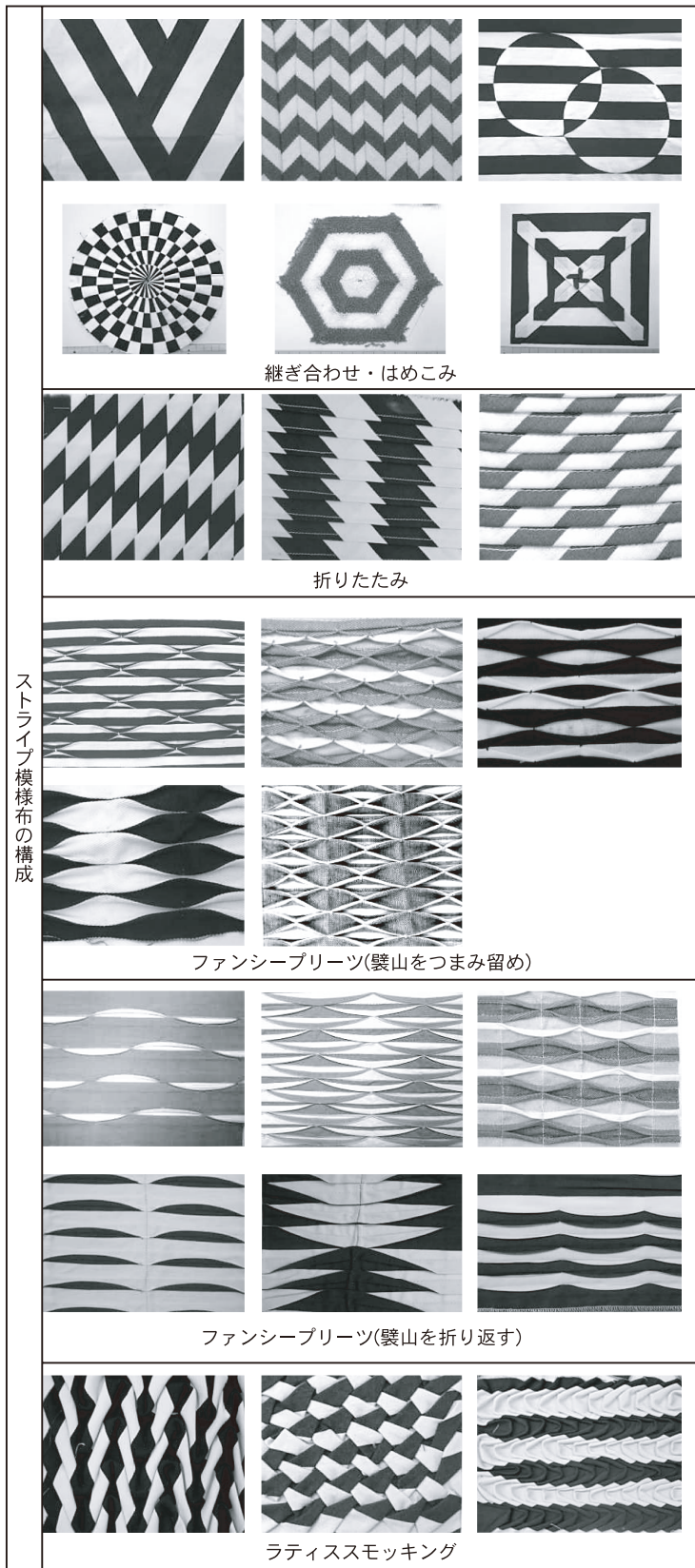


図 15 ストライプ模様布による構成

2、実習作品 図 16

- ・作品1は、2.2cm幅の白と紺のブロックストライプを使用。トップの両サイドと裾に濃色が来るよう配列して、グラデーションに折り畳んでステッチしたワンピースである。キャップスリーブは、白い部分を陰翳にしたプリーツにしている。折り込んで見えない部分のボリューム感とギャザー量のバランス、グラデーションのストライプがほどよく、リアルクローズとしてよくまとまった作品である。
- ・作品2は、7種の布地を接ぎ合わせて作製した、星型モチーフがポイントのワンピース。赤・白・紺の無地の布、赤白と紺白のブロックストライプ布（各0.6cm幅、2.2cm幅）を駆使して丁寧に接ぎ合せた手作りならではの作品である。
- ・作品3は、山折にしたプリーツの倒し方向を上下で反転させ、黒白の見え加減をもって微妙な揺らぎを表現している。3cm幅のブロックストライプを使用。黒無地のヨークと幅広の裾ベルトで、ひねりをきかせたプリーツの付け位置をしっかりと固定して、リズム感の感じられるワンピースに作り上げている。



図 16 実習作品

IX. まとめ

設計製作技術に端を発するデザイン発想というテーマの下、ストライプ模様が喚起するデザイン要素を検討した結果、以下の3点を得る事ができた。

- ・身の回りのストライプ模様の活用事例から、それらが意図する潜在的な意味を把握した。
- ・ストライプ模様の構成要素、テキスタイルにおける線条表現、創造的なストライプ模様の作成要因について系統立ててまとめた。

- ・イメージを形にする設計製作技術としてヒントとなる、多くのアイデアを包括したストライプ模様の試作サンプルを提示し、技法別に分類・解説した。

サンプル作品の提供を快諾していただいた多くの受講生の方々、及び、授業のサポートをしていただいた助手の方々に感謝して厚く御礼申し上げます。

注及び参考文献

- 1) 佐藤真知子 イメージを形にする設計・製作技術—フリルの場合— 文化女子大学紀要 Vol.39 2008
- 2) 佐藤真知子 イメージを形にする設計・製作技術Ⅱ—ニードルパンチ技法によるテクスチャー効果— 文化女子大学紀要 Vol.40 2009
- 3) 佐藤真知子 イメージを形にする設計・製作技術Ⅲ—ミシンのアタッチメントによるバリエーション縫い— 文化女子大学紀要 Vol.41 2010
- 4) 鈴木正文 服装における錯視の研究 (1), (2) 文化女子大学研究紀要 Vol.23, 24 1992, 1993
- 5) 鈴木正文他 縞柄の見え様と服装イメージの研究 (1), (2), (3) 文化女子大学研究紀要 Vol.27, 29, 31 1995, 1997, 1999
- 6) 吉岡徹 被服に於ける図柄のイメージ (1), (2) 家政学雑誌 Vol.36 10 1985, Vol.37 12 1986
- 7) 小菅啓子他 ストライプ柄のイメージに関する基礎的考察 織消誌 Vol.31 1 1990
- 8) 桐谷佳恵他 ストライプ柄スカートの着用時と柄としての印象の違いについて デザイン学研究 Vol.53 6
- 9) 古島昭雄 縞柄の幾何学的錯視に関する研究 織消誌 Vol.29 2 1988
- 10) 於：文化学園服飾博物館 「ヨーロッパ・モード」展、2012.6
- 11) 於：文化学園服飾博物館 「アフリカの染織」展、2012.9
- 12) 於：文化コスチュームギャラリー 「YUKI TORII アーカイブ展」2012.9
- 13) 高橋かおる編集『フィンランドのマリメッコ手帖』パイインターナショナル、2012.3
- 14) 田中千代 『新田中千代服飾事典』同文書院、1998.1
- 15) 吉川和志 『新しい繊維の知識』鎌倉書房、1988.5

引用・転載

- 16) ミシェル・パストゥロー 松村剛、松村恵理訳 『悪魔の布：縞模様の歴史』白水社、1993.5 p.10. 11. 91. 123
- 17) 織研新聞 2012.9.13 (12)
- 18) WWD TRENDBOOK Vol.1716
- 19) WWD ジャパン Vol.1708 (13) (17)
- 20) 織研新聞 2012.10.26 (12)
- 21) 『文化女子大学講座 服装造形学 技術編Ⅱ』文化女子大学教科書出版、2000 p.42